

[別紙]

転学類選考基準

医薬保健学域薬学類（令和3年度以降入学者用）

受入れ上限数	若干名 ^{注2}	
受入れ時期	2年前期開始時	
出願要件 ^{注1}	入試成績	薬学類が指定した大学入学共通テストの科目を受験し、その成績が、学類で定める基準 ^{注3} を満たすこと。
	入学後の成績等	出願時まで、薬学類1年次学生が履修する共通教育科目を修得または履修中であること。 共通教育科目のGPAが2.5以上であること。
選抜方法	書類審査（大学入学共通テストの成績、入学後の成績、志望理由書等）及び口述試験により総合的に判定する。	

注1：令和3年度以降の入学者で、本学大学院医薬保健学総合研究科薬学専攻博士課程に進学し、博士の学位を取得し、薬学教育・研究者を志す者を対象とする。

注2：9月30日現在の1年次の在籍者数（総合教育部から移行予定の2名を含む）が入学定員の105%に相当する68名未満の場合にのみ募集を行う。選考実施の有無については11月中にWebサイトにて公表する予定。

注3：基準は志願者にのみ通知する。

薬学類1年次学生が履修する共通教育科目（抜粋）

導入科目	大学・社会生活論 1単位（必修） データサイエンス基礎 1単位（必修） 地域概論 1単位（必修）
GS科目（6群）	1群から5群の各群から2単位以上 6群から3単位 計15単位
GS言語科目	TOEIC準備またはPractical Englishコース 4単位（必修） EAPコース 4単位（必修）
自由履修科目	2単位以上 GS科目、基礎科目及び初習言語科目の最低修得要件を超えて修得した科目、並びにその他の共通教育科目（導入科目及びGS言語科目を除く。）を指す。
基礎科目	微分積分学IA 1単位（必修） 微分積分学IB 1単位（必修）

※GS科目「2E 細胞・分子生物学」、「6A インテグレートド科学（化学の世界）」及び「5B 統計学から未来を見る」、基礎科目「統計数学A」及び「統計数学B」を修得または履修中であることが望ましい。

※1年次学生が転学類を希望する場合、Q4開講科目については未修得・未履修も可とする。